

通明小だより

平成26年10月20日号

～新校舎の生活スタート！～

校門をくぐると、先ず通明小学校のシンボルである桐の木が迎え入れてくれます。そして、アーチライン型の昇降口に足を踏み入れると、ふわっと木の香りに包まれ、さらに床に陽の光が反射をして、明るくさわやかな心地にさせてくれます。

いよいよ新校舎での生活がスタートしました。子どもたちの気分も高揚し、「よしがんばるぞ！」と気持ちを新たにしている様子が伺えます。

これに先立ち、土曜日にはお家の方に引越しの手伝いをしていただき、ありがとうございました。おかげさまで、今日から気持ちよくスタートすることができました。お手伝いの際には、お家の方からも「6年生、少しでも新校舎で生活できて良かったね～」と声が聞こえてきましたが、卒業まで過ごさせていただくことに感謝の気持ちを持って大事に生活したいと思います。

さて、新校舎での生活の前には、2年間の仮設校舎での生活があったことを忘れてはいけません。先週の金曜日に最後のお別れを兼ねて、みんなで最後の掃除をしました。教室の机や椅子が運び出されると、何だか広く感じます。その教室の床を、きれいにほうきで掃き、雑巾がけをしました。その一拭きにそれぞれの思いが込められているようで、良い表情をして雑巾がけをしていました。

最後に教室に集まり、今までの仮設校舎の思い出を振り返るといことで、30秒間黙想

児童の様子的一端をお伝えするために、6年生の学級通信を引用させていただきました。
仮設校舎にお別れし、感謝の気持ちをもって新校舎での生活をスタートさせた子どもたちがいます。

新しい校舎での生活に胸躍らせる子どもたち。子どもたちの高揚感は、児童会活動として早速取り組んだ「あいさつ大会」での姿に反映し、校舎内外に響き渡る大きなあいさつとして具現されています。また、現在は、「登校班で集合した際、「おはよう」といいながら集まること」や「集まったと

ころで、声をそろえて「おはようございます」と言ってから出発すること」に取り組んでいます。今後、何十年も使われるだろう通明小学校の新校舎に初めて足を踏み入れた感激を胸に、このような立派な校舎で小学校生活を過ごせることを、ただ当たり前のこととせず、地域の皆様・保護者の皆さまへの感謝の気持ちを忘れずに、日常のあいさつに気持ちをのせ、学校生活を充実させていきたいと思っています。

けやきの はかげの ふるいみち
みちはむかしへ つづいている
わらいながら おこりながら
いろんなひとの ふんだみち
ひとあし ひとあし あるいてゆ
こう

作 谷川俊太郎

～PTA作業 ありがとうございました。～

200人を超える参加をいただき、予定よりずっと早く引越し作業を終えることができました。この日のために、日程を空けておいていただいた保護者の皆様が大勢いらっしゃったとのこと。心より御礼申し上げます。ありがとうございました。



気持ちがいいね！新校舎

憩いの場・中庭



迎え桐の木の
昇降口
くれる



万が一に備えて避難訓練



新校舎登校初日

「元気になって 桐の木さん」

通明小学校のシンボルである、大切な桐の木。この頃勢いがありません。
「元気になって。」「頑張る。」「
全校のみんなで思いを込めて、歌のエールを送りました。

～ロング音楽集会～

